



全長1m前後にもなる大型魚で、よく淡水域まで侵入する。福井市底喰川産 全長:約70cm

ボラ科 メナダ属

【全長】100cm

## メナダ

俗名:アカメ

学名: *Chelon haematocheilus*

### 分布域

北海道～九州までの日本各地に分布する。

### 生息域

河川の河口部や汽水湖に生息。淡水域にも侵入する。



幼魚(5～15cm)は汽水域にも多い。

前種のボラと似るが本種の方が大きくなり、脂鱗はボラほど発達しない。頭部が縦扁し、鰓蓋上部の体幅が最も大きい。唇付近と眼がオレンジ色を帯びる。濁りの強い内湾や潟湖に多い。春～秋は幼魚・成魚とも純淡水域にまで侵入する。体色は黄色味を帯びた銀白色で、鱗が網目模様に見える。食性は雑食性で付着藻類やデトリタス・底生動物などを食べる。産卵生態など不明。汽水域で幼魚～成魚まで視られる。

水槽での飼育は、若魚までは性格も温和で人にも慣れ容易に飼える。成魚になると水槽環境に慣れにくい。餌は配合飼料に慣れる。飼育水は真水より、海水を10%程度混ぜた汽水の方が調子がいい。

### 在来種

### 汽水魚

※ 平野部のコンクリート護岸の水路(純淡水域)などでも成魚が見られる。最大で1mにもなる大型魚。流れの緩やかな泥底部を好む。底層や表層を静かに泳ぎ餌をとる。